

# 54 高耐力フレックス両引きボルト / 高耐力座金60



60kNまでのホールダウン金物に対応した両引きボルトと座金です。  
色をつけることにより識別がしやすく、施工時や検査時の確認が容易になります。

## プロイズ 高耐力フレックス両引きボルト

PZ-FR16-60

PZ-FR16-80

PZ-FR16-100

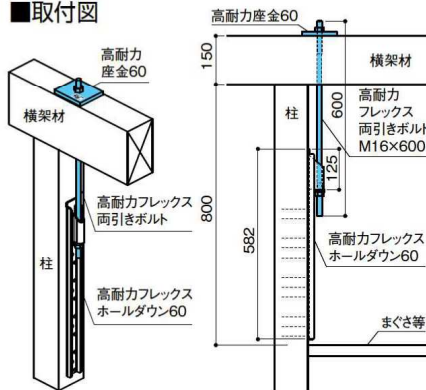
## プロイズ 高耐力座金60 W12×110×95



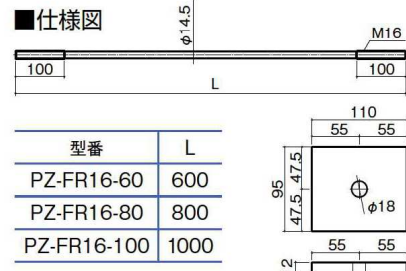
## プロイズ 高耐力高ナット (別売品) (60ページ参照)



## 取付図



## 仕様図



型番	L
PZ-FR16-60	600
PZ-FR16-80	800
PZ-FR16-100	1000

## 高耐力座金60耐力

樹種	基準強度	短期基準耐力
ベイツ類	9.0N/mm <sup>2</sup>	<b>60.0kN</b>
ヒノキ類	7.8N/mm <sup>2</sup>	<b>54.3kN</b>
スギ類	6.0N/mm <sup>2</sup>	<b>41.8kN</b>

※木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)より算出。  
※高耐力フレックスホールダウン60と高耐力専用金物を併用した場合の耐力を表記しています。  
※座金(鋼材部)の応力計算書はBXカネシンのホームページよりダウンロードできます。

## 木材のめり込みに対する基準強度(F<sub>cv</sub>)

樹種		基準強度 (単位 N/mm <sup>2</sup> )
無垢材	ベイツ類	9.0
	ヒノキ類	7.8
	スギ類	6.0
集成材	あかまつ、くろまつ、ダフリからまつ、サザンパイン、べいまつ、ホワイトサイプレスパイン、ラワン	9.0
	ひのき、ひば、からまつ、べいひ	7.8
	つが、アラスカイエローシダー、ペにまつ、ラジアタパイン、べいつが、もみ、とどまつ、えぞまつ、べいもみ、スプルース、ロッジポールパイン、ボンデローサパイン、おしゅうあかまつ、すぎ、べいすぎ、ジャックパイン	6.0

※平成13年国土交通省告示1024号による

## 高耐力フレックス両引きボルト

型番	商品コード	サイズ	出荷単位	梱包	作業工程別 梱包の分類	メーカー希望小売価格 円/本(税抜)
PZ-FR16-60	600949	M16×600	1本	20本/ケース	構造	1,100
PZ-FR16-80	600950	M16×800		10本/ケース		1,320
PZ-FR16-100	600951	M16×1000		1,540		

材質	JIS B 1180 (六角ボルト)に規定する機械的性質*の強度区分6.8に適合する炭素鋼
表面処理	プロイズ処理
付属品	8Tナット(M16)×2個

※引張強さおよび下降伏応力の数値

## 高耐力座金60

型番	商品コード	出荷単位	梱包	作業工程別 梱包の分類	メーカー希望小売価格 円/枚(税抜)
W12×110×95	603433	1枚	1枚/ケース	構造	1,300

材質	JIS G 3101 SS540 JIS G 3106 SM570 (平成29年5月頃SM570に切り替えとなります。)
表面処理	プロイズ処理
承認等	木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)より短期基準耐力を算出



## 用途

- ホールダウン金物(60kNまで)を片引きで接合する場合に両引きボルトと座金を組合せて使用します。
- ホールダウン金物(60kNまで)で上下階の柱を引合う場合は両引きボルトを使用します。

## 特長

- 60kNまでのホールダウン金物に対応した両引きボルトと座金です。
- 横架材上端や下端からの空間の距離が800mmの場合でも、高耐力フレックスホールダウン60、高耐力フレックス両引きボルト(M16×600)、高耐力座金60で施工が可能です。(取付図参照)
- 高耐力座金60は、梁せい105mm以上で使用可能です。  
※横架材を座掘りする場合は、残り材成を105mm以上確保してください。

## 使用方法

- 1 横架材にφ18~φ21のボルト穴をあけます。
- 2 横架材と柱を片引きで接合する場合は、高耐力フレックス両引きボルトを高耐力座金60とホールダウン金物に通し、ナットで締付けます。上下階の柱を両引きで接合する場合は、高耐力フレックス両引きボルトをホールダウン金物に通し、ナットで締付けます。

## 注意事項

- 高耐力のため、横架材の応力の検討実施を推奨いたします。
- 座金が横架材からはみ出さないように施工してください。(梁幅120mm以上の場合は座金の向きはどちら向きでも構いません。)
- 上下階同一線上に柱がある場合は、座金が柱と干渉しますのでご注意ください。
- ナットは必ずボルトに付属された8Tナットまたは別売品の『高耐力高ナット』をご使用ください。
- 『高耐力フレックスアンカーボルト』と『高耐力フレックス両引きボルト』を継ぐ場合、『高耐力高ナット』に各20mm以上かけてください。
- 取扱いに関する注意事項は20ページを参照してください。